

特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会

指導歯科衛生士審査施行細則

第1条 この細則は、特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会（以下「本会」という）認定制度規則（以下「規則」という）第7条の規定に基づき、指導歯科衛生士審査に關し、必要な事項を定める。

第2条 申請者は、次の各号に定める指導歯科衛生士申請書類を認定審議委員会に提出しなければならない。

- (1) 指導歯科衛生士認定申請書（様式1）
- (2) 本会指導歯科衛生士資格審査表（様式2）
- (3) 履歴書（様式3）
- (4) 本会指導医又は日本歯科専門医機構歯周病専門医1名の推薦書（様式4）
- (5) 指導歯科衛生士申請患者一覧表（様式5）と治療に関する資料（様式6、様式7）
- (6) 指導歯科衛生士認定申請料（郵便振替払込金受領書のコピー）

第3条 認定審議会による指導歯科衛生士審査は、毎年1回以上実施し、本会は3か月前までに指導歯科衛生士審査の公示を行うものとする。

第4条 指導歯科衛生士審査

指導歯科衛生士審査の申請では、申請者は次の各号に従わなければならない。

1. 書類審査「症例提出用テンプレート」（ppt,pptx版）を用いること。
 - (1) 初診時から、メインテナンス又はサポートタイプペリオドンタルセラピー（SPT）期間を通して担当したステージⅡ以上の歯周炎を5症例提示すること。（引継ぎ症例は不可）
 - (2) 症例はメインテナンス又はSPT（歯周治療終了後6か月以上経過していること（1年以上経過が望ましい））まで進んでいて、適正に機能している残存歯が10歯以上存在していること。
 - (3) 症例記録資料は症例の概要が理解できるようにすること。
 - (4) 初診時、歯周基本治療終了時、メインテナンス又はSPT移行時、及び直近のメインテナンス又はSPT時の歯周組織検査表、—さらに、初診時、メインテナンス又はSPT移行時、及び直近のメインテナンス又はSPT時の口腔内写真を添付すること。
 - (5) 初診時と直近のメインテナンス又はSPT時の10枚法以上のデンタルエックス線写真（パノラマエックス線写真でも可）を添付すること。

2. 口頭試問

口頭試問は、申請者が提出した症例の内、症例番号1番に対し以下の各号について行う。

- (1) 申請者は、症例発表を行い口頭試問を受ける。
- (2) 症例発表に指定した症例には、初診、歯周基本治療終了時及びメインテナンス又は

SPT 時の所見が含まれる。

(3) 症例発表の持ち時間は、15 分とする。

(4) 症例発表は、原則としてパーソナルコンピューターによるスライドで行う。更に病歴及び治療経過のコピーを用意する。

3. 提示症例の免除

本会が主催する年次大会、支部教育研修会で以下の各号について提示症例の免除を行う。

- ・教育的講演（1 時間以上）を行った者は、4 症例を免除する。
- ・教育的講演（1 時間未満）を行った者は、3 症例を免除する。
- ・症例発表（10 分以上）を行った者は、2 症例を免除する。
- ・ポスター発表を行った者は、2 症例を免除する。
- ・症例免除は最大で 4 症例までとする。
- ・共同演者の症例免除は行わない。

4. ただし、令和 8 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日までを暫定期間とし、1 の書類審査は 3 症例提示（免除症例は最大で 2 症例までとする）、2 の口頭試問は免除する。

第 5 条 合否判定

1. 認定審議委員会は総合的な審査を行い、その合否結果を本会理事会に報告する。
2. 合否判定細則、審査方法は別に定める。

第 6 条 この細則の変更は理事会の議決を経て、総会での報告を必要とする。

附則

本施行細則は、令和 2 年 6 月 7 日から施行する。

本施行細則は一部改正し、令和 3 年 3 月 31 日より施行する。

本施行細則は一部改正し、令和 4 年 7 月 30 日より施行する。

本施行細則は一部改正し、令和 6 年 6 月 17 日より施行する。

本施行細則は一部改正し、令和 8 年 4 月 1 日より施行する。